

たからづか学校応援団 ボランティアを募集

ID1001368

「たからづか学校応援団」は、学校・地域・家庭が一体となって子どもを育てることを目的に、平成20(2008)年度に設置されました。「できることを できるときに できることから」を合言葉に、市内小中学校32校でボランティア活動を行っています。



宝塚第一小学校図書ボランティア

本の読み聞かせや登下校の見守り、田植え、稲刈り・サツマイモ収穫などの農業体験指導補助のほか、ミシン指導補助、トイレ掃除、クラブ活動補助、行事補助など、学校からの依頼に基づき、さまざまな場面で活躍中です。

また、昨年10月に実施した第1回ボランティア研修会では、登下校の見守り活動を行う際の注意点について、講話と実技演習を行いました。参加者からは、「横断旗の基本的な使用方法を知らなかったのが参考になった」などの声をいただいています。

「たからづか学校応援団」では、ボランティアを募集しています。登録を希望される場合は、教育委員会社会教育課で配布している登録申込書(市ホームページからもダウンロード可)に必要事項を記入の上、郵便またはファクスで同課へ提出してください。

「第2回ボランティア研修会」を開催

活動されているボランティアの皆さんや、学校関係者との交流を目的とした研修会を2月に開催します。詳しくは、本誌2月号に掲載しますのでご覧ください。

教育委員会社会教育課 ☎77・2029 FAX71・1891

「第10回 学校給食展」を開催

宝塚市の給食を知ろう～給食で育む健康な体と豊かな心～
【子どもたちの豊かな未来のために】

半世紀以上にわたり、子どもたちの健やかな成長と共に歩んできた宝塚市の学校給食。安全安心とおいしさにこだわった学校給食と、子どもたちへの食育を紹介します。

ID1023039

日時 1月20日(土) 10時～15時

場所 東公民館

※車でのご来場は出来ませんので、公共交通機関でお越しください

市職員が出演してご説明します。
1月15日(月)17時～17時半
FM宝塚 83.5MHz (再)1月19日(金)12時～12時半

内容

『給食の試食』(11時半～13時、先着300人) ※10時から2階受付で整理券を配布(整理券の配布は、ひとり1枚とさせていただきます)。

子どもたちが実際に食べている給食を試食してみませんか?今回は、小学校・中学校のカレーの味くらべを行います。給食調理員の心のこもった手作りの味をお楽しみください。

試食献立(予定)…ごはん・手作りルウのビーフカレー・冬野菜スープ

『手作りふりかけ体験』(10時半～、13時～) ※なくなり次第終了

好きな食材を混ぜて、オリジナルふりかけを作ってみましょう。

『野菜ビンゴ大会』(10時15分～、13時～)

素敵な手作り景品もあるのでぜひ参加してください。

『スタンプラリー』

クイズあり、体験ありの楽しいラリーにチャレンジしてみましょう。

全問正解者にはプレゼントがあります(数に限りがあります)。

『児童・生徒作品展』

食に関する児童・生徒の作品を展示します。

『食育教室』

栄養教諭による野菜当てクイズ(正午～)や、おはしの持ち方劇場(14時～)を行います。

教育委員会学校給食課 ☎77・2039 FAX71・1891



あんな活動 こんな活動

地域とのつながりで災害を乗り越えよう

丸橋小学校

10月26日、丸橋小学校において長尾地区まちづくり協議会の主催で自主防災訓練が実施され、同校4年児童・丸橋幼稚園5歳児・自治会・保護者が参加しました。宝塚市にも大きな被害を及ぼした阪神・淡路大震災を教訓に、近年多く発生する災害に備えるため、また、災害発生時に地域と連携して災害を乗り越えられるよう、つながりを深めることを目的としています。

はじめに、校舎からの避難や保護者への引き渡し訓練を行い、その後、消火訓練・水防土のう訓練・応急担架訓練の3つのグループに分かれ、災害が発生した際の初期対応の訓練が行われました。慣れない作業に児童・園児たちは悪戦苦闘しながらも、もしもの時に備えて真剣に学んでいきます。そして最後は、非常食の炊き出しのおにぎりと豚汁をいただいて、訓練は終了しました。

今回の訓練を受けて、自分や大切な人の生命を守るため、いつ発生するか分からない災害に備える意識を高めることができました。



『環境フェスタ2018』を開催

ID1023025

市立小学校・特別支援学校では、さまざまな環境学習を実施しています。子どもたちの取り組みの様子を展示しますので、ぜひご覧ください。

期間 2月14日(水)～20日(火) 平日9時～17時(最終日は15時まで)

場所 市役所1階 市民ホール

特別支援教育推進事業(大山派遣)

ID1015024

本市では、特別支援学校・学級で教育を受けている市内在住の中学3年生を対象に、自立へ向けての自信につなげ、生きる力を身につけることを目的として、特別支援教育推進事業を行っています。今年度は、17人の生徒が事業に参加し、8月22日から3泊4日の日程で、鳥取県大山高原で乗馬セラピーなどを体験しました。



大山派遣に先立ち、生徒たちは事前学習として、バルーンを使った乗馬の練習や、1泊2日の宿泊研修などに取り組みました。最初は緊張していた生徒たちも、4回の事前学習を経て緊張がほぐれ、派遣団としてのまとまりが感じられるようになりました。

大山では乗馬セラピーのほか、アイスクリーム作りやとっとり花回廊での美しい草木や花々の観賞を通して、大自然の中でたくさんの楽しい思い出を作りました。3泊4日の研修を経て帰ってきた生徒たちには、たくましさも見られました。

9月6日の報告会では保護者の皆さんをはじめ、生徒たちを温かくサポートして下さったボランティアの皆さん、また、この事業を支援していただいている清荒神清澄寺様など、大勢の人たちの前で、大山での思い出を発表しました。

卒業後も全員がこの事業で得たものを大切に、仲間同士のつながりを深め、自立に向けて一歩ずつ成長していくことを願っています。

教育委員会学校教育課 ☎77・2028 FAX71・1891